

統計リテラシー向上のための 取組について

総務省統計局・統計研究研修所

統計リテラシー向上のための取組

国民・事業者向けの取組

統計リテラシーを有する者を増加させ、データサイエンス力の高い人材の育成と、国民や事業者によるデータの適切な利用を推進するため、各種取組を実施

小・中学生向け

高校生向け

大学生・社会人向け

■ 学習サイトの開設

キッズすたっと



なるほど統計学園



データサイエンス・スクール



データサイエンス・オンライン講座



■ 各種セミナー等

わくわく！統計アカデミー for KIDS



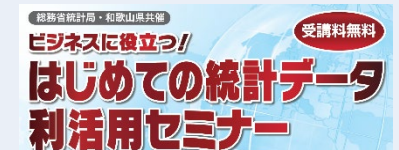
中学生限定！統計チャレンジセミナー



統計データ分析コンペティション



ビジネスパーソン向けセミナー



統計リテラシー向上のための取組

■ 学習サイトの開設

キッズすたっと

小・中学生向けのデータ検索サイト。教科書にある言葉などから統計データを探ることが可能。



データサイエンス・スクール

データの活用方法や統計の知識を“いつでも誰でも気軽に学べる”統計力向上サイト



なるほど統計学園

統計に親しみを感じながら、統計の基礎知識、集計データの解析方法等、様々な角度から統計を学ぶことができるサイト



データサイエンス・オンライン講座

統計データを活用していく能力の向上に資する3つのオンライン講座を提供



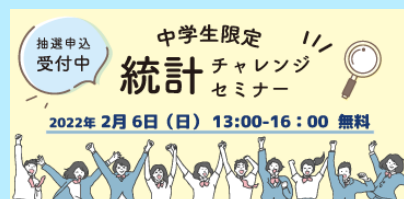
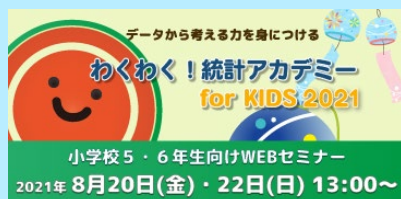
統計リテラシー向上のための取組

■ 各種セミナー等

子供向けイベント

キッズ向け統計学習イベント「わくわく！統計アカデミー for KIDS 2021」を開催
(2021年8月開催)

中学生を対象に「中学生限定！統計チャレンジセミナー」を開催 (2022年2月開催)



ビジネスパーソン向けセミナー

「ビジネスに役立つ！はじめての統計データ活用セミナー」を2022年3月に開催
(WEBセミナー)

◆ オープンデータに触れてみる

まずはオープンデータに触れてみることを目的として進めます。

Q1. 都道府県別の所得の傾向を調べてみましょう。
Q2. 魚介類の消費金額を調べてみましょう(家計調査)。

欲しいデータのイメージ

品名	地域	調査年(月)	消費量
まぐろ	札幌市	2019年1月	●
...

第2章データ(3)魚介類.xlsx
ランダムに抽出した

◆ 統計学の分類

◆ 【参考】相関関係と因果関係について

統計データ分析コンペティション

統計データの利活用促進のため、高校生、大学生等を対象に、地域別の統計をまとめたSSDSE(教育用標準データセット)を用いた統計データ分析の論文を募集し、そのアイデアと解析力を競うコンペティションを開催

統計リテラシー向上のための取組

ウェブ上で誰でも無料で参加可能なオープンな講義「データサイエンス・オンライン講座」を開講（「MOOC」(Massive Open Online Courses) の手法を利用）

社会人のための データサイエンス入門

【講座の特徴】

データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

【開講時期】

平成27年3月・11月、28年3月※・12月、29年5月※、30年5月・11月※、31年4月※、令和元年10月・12月※、令和2年5月・9月※・12月※、令和3年5月・9月※、令和4年6月

【学習時間】

1回10分程度×6～9回程度（1週間）×4週

【実績】

社会人を中心に延べ約**144,000**人が受講

【内容】

- 第1週：データ活用への導入、分析事例から統計的な考え方、データの見方への導入
- 第2週：データ分析に必要な統計学の理論的な基礎
- 第3週：データの見方についての基本的な方法
- 第4週：誰もが入手可能な公的統計データの入手方法とコースのまとめ

社会人のための データサイエンス演習

【講座の特徴】

「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

【開講時期】

平成28年4月・11月※、29年11月、30年6月※、令和元年5月・10月※、令和2年9月、令和3年9月・12月※、令和4年10月開講予定

【学習時間】

1回10分程度×5～6回程度（1週間）×5週

【実績】

社会人を中心に延べ約**57,000**人が受講

【内容】

- 第1週：データサイエンスとは
- 第2週：分析の概念と事例～Analysis（分析）とは、状況の把握、比較の視点
- 第3週：分析の具体的手法～クロス集計、散布図と相関、時系列データ
- 第4週：ビジネスにおける予測と分析結果の報告～回帰分析
- 第5週：ビジネスでデータサイエンスを実現するために

誰でも使える 統計オープンデータ

【講座の特徴】

e-Stat（政府統計の総合窓口）等を使い、統計オープンデータの活用方法を学べる

【開講時期】

平成29年6月・10月※、30年12月、令和2年1月、令和3年1月・5月※、令和4年1月

【学習時間】

1回10分程度×5～7回程度（1週間）×4週

【実績】

社会人を中心に約**35,000**人が受講

【内容】

- 第1週：e-Statを使ったデータ分析
- 第2週：公的統計データの基本事項及び読み方
- 第3週：統計データと地図を組み合わせた統計GISの活用方法
- 第4週：統計API機能の仕組みや具体的な活用事例等の統計オープンデータの高度な活用方法

※特別開講：参考として動画の閲覧のみ可能な講座

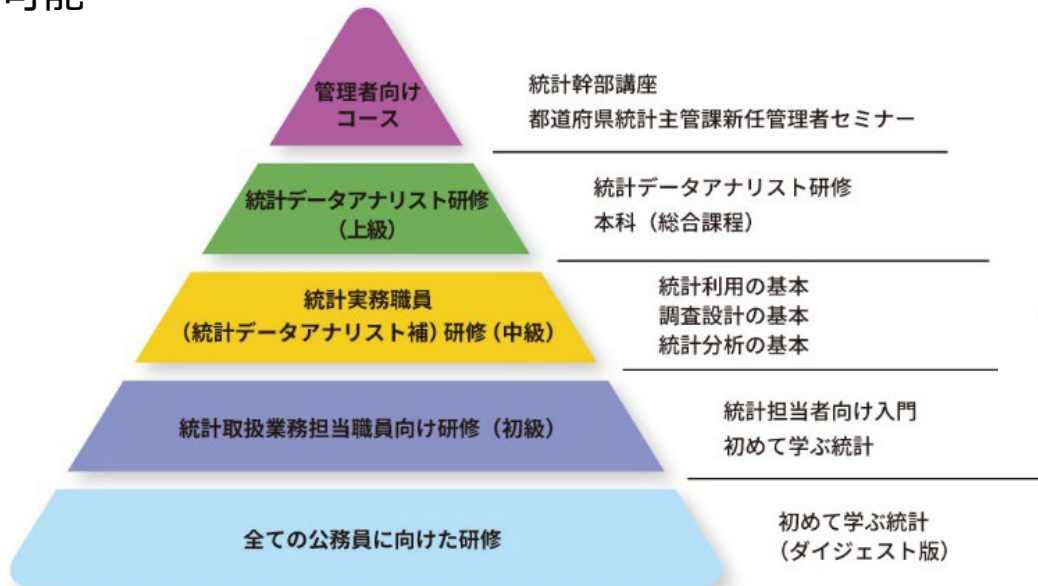
統計リテラシー向上のための取組

国・地方公共団体等の職員向けの研修

- ・ 総務省統計研究研修所において、国・地方公共団体等の職員を対象に、**統計作成の中核を担う統計人材の育成及び統計を政策の立案等に活用するための統計リテラシー向上**を目的として研修を実施
- ・ 集合研修に加え、研修のライブ配信や、eラーニング形式のオンライン研修などICTを活用した研修を拡充し、広く受講しやすい研修を実施（令和3年度実績 11,390人）

■ 業務レベル別研修

受講生の統計実務経験や役職により研修レベルを段階的に分け、受講生のレベルに見合った研修の受講が可能



■ 分野別研修

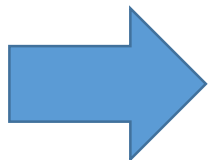
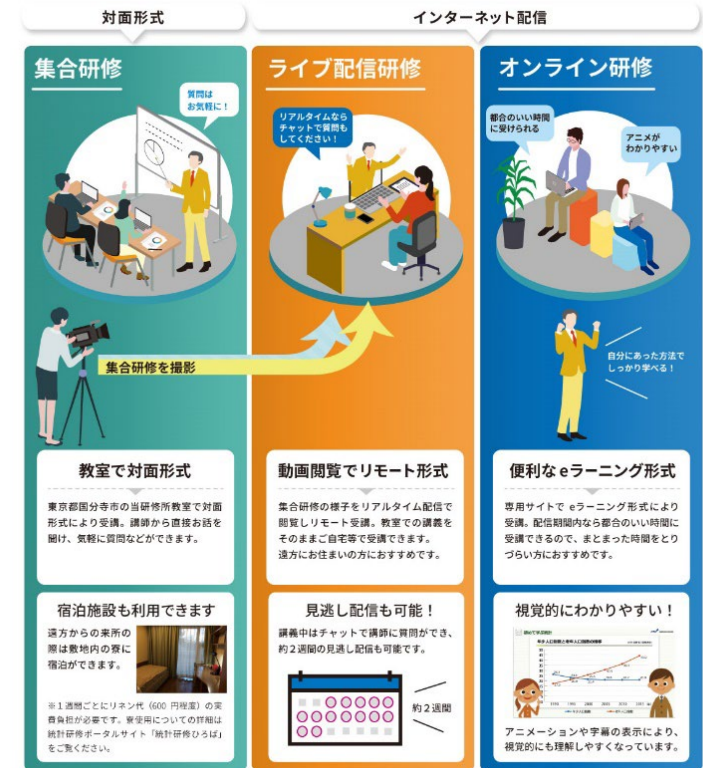
研修内容を分野ごとに分け、受講生の担当業務や興味のある分野の受講が可能



統計リテラシー向上のための取組

多様な受講方法に対応

- 受講対象者数が多いと見込まれる**研修のオンライン化を推進し利便性を向上**
- 業務レベル別研修の**中級に位置づける「統計実務職員（統計データアナリスト補）研修」**までは、**オンラインでの受講が可能**
- 要望の多い研修を中心に、集合研修の様子を映像配信する**ライブ配信研修を実施**（見逃し配信付き）
- これらの取組により、それぞれの職場や自宅（テレワーク）でも研修の受講が可能
- コロナ禍における研修受講機会の確保や受講定員の拡充にも寄与



引き続き、コンテンツ自体の充実や、コンテンツ提供の手段の多様化にも努め、効率的かつ効果的なかたちで統計リテラシー向上のための取組の充実を図っていく